

家庭科	科目	家庭基礎	(必修)	授業時数	2 単位
				履修学年	1 学年

目 標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。
-----	---

●学習内容

1 学期	2 0 時間	2 学期	2 8 時間	3 学期	2 2 時間
第 1 章 人の一生と家族・家庭及び福祉 ・生涯の生活設計 ・青年期の自立と家族・家庭 ・子どもの生活と保育 第 3 章 持続可能な消費生活・環境 ・生活における経済の計画	20	第 2 章 衣食住の生活の自立と設計 ・衣生活と健康 ・食生活と健康 第 3 章 持続可能な消費生活・環境 ・持続可能なライフスタイルと環境	28	第 1 章 人の一生と家族・家庭及び福祉 ・高齢期の生活と福祉 ・共生社会と福祉 第 3 章 持続可能な消費生活・環境 ・消費行動と意思決定 第 2 章 衣食住の生活の自立と設計 ・住生活と住環境	22

教材	授業の進め方
教科書:「家庭基礎 自立・共生・創造」(東京書籍) 副教材:「家庭科ノート 豊かな生活を創造する」(啓隆社)	主体的に生活を創造する資質・能力の育成を目指して、実践的・体験的な学習活動を行う。 具体的には、教科書や学習ノートを中心に授業を進めるが、単元によってはレポート作成やグループ活動を取り入れる。また、定期考査を通して、定着度を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
	習得する (わかる)	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについておおむね理解しているとともに、それらに係る技能をおおむね身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力をおおむね身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする態度が、おおむね身に付いている。
評価方法		定期考査、実習製作作品 学習ノート	定期考査 学習ノート、レポート	学習ノート、レポート グループ学習の取り組み

単元別 評価規準

第1章 人の一生と家族・家庭及び福祉

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生涯の生活設計、青年期の自立と家族・家庭、子どもの生活と保育、高齢期の生活と福祉、共生社会と福祉などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉における問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、人の一生と家族・家庭及び福祉における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
	習得する (わかる)	生涯の生活設計、青年期の自立と家族・家庭、子どもの生活と保育、高齢期の生活と福祉、共生社会と福祉などの基礎的なことについておおむね理解しているとともに、それらに係る技能をおおむね身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉における問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力をおおむね身に付けている。	様々な人々と協働し、人の一生と家族・家庭及び福祉における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする態度が、おおむね身に付いている。

第2章 衣食住の生活の自立と設計

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	食生活と健康、衣生活と健康、住生活と住環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	衣食住の生活の自立と設計における問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、衣食住の生活の自立と設計における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
	習得する (わかる)	食生活と健康、衣生活と健康、住生活と住環境などの基礎的なことについておおむね理解しているとともに、それらに係る技能をおおむね身に付けている。	衣食住の生活の自立と設計における問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力をおおむね身に付けている。	様々な人々と協働し、衣食住の生活の自立と設計における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする態度が、おおむね身に付いている。

第3章 持続可能な消費生活・環境

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生活における経済の計画、消費行動と意思決定、持続可能なライフスタイルと環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	持続可能な消費生活・環境における問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、持続可能な消費生活・環境における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
	習得する (わかる)	生活における経済の計画、消費行動と意思決定、持続可能なライフスタイルと環境などの基礎的なことについておおむね理解しているとともに、それらに係る技能をおおむね身に付けている。	持続可能な消費生活・環境における問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力をおおむね身に付けている。	様々な人々と協働し、持続可能な消費生活・環境における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする態度が、おおむね身に付いている。